

3 年	単 元 名	「自分」を表す（自画像）
（教科） 美術		

1. 単元の目標

自分と向き合い、自分らしさとは何かを考えて表現する。

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

さまざまな「自画像」を本で鑑賞し、ネット画像では捉えにくい特徴を見つけ味わい、自分の表現に繋げる。

3. 授業での活用場面

学習活動	学校図書館の関わり
○「自画像」について知る。 ・自分の内面と対話しながら観察し、表現することが大切である。 ・似せることより「自分らしさ」を大事にする。 ○班で鑑賞活動を行う。 ・何点かの作品を観賞し、個人でコメントを書く。（鑑賞のポイントを示したワークシートを用意する） ・班の中で発表し合い、意見を交換する。 ○まとめ ・各班の代表が班での話し合いの内容をまとめて、全体の前で発表する。 ○次回の予告	※さまざまな「自画像」を鑑賞できる本を用意する。 ・班に1冊はあるとよい。 ・印刷の質が高く色や細部の再現が優れた本。

4. 考察（成果や課題等）

- ・現実的には班に一冊の本を用意するのは難しかったため、一冊の本から複数の作品のコピーを取り使うことにした。結果、色や細部まで十分に鑑賞するには至らなかった。
- ・全員が一度に同じものを見ることができたこと、さまざまなタイプの作品を並べてみることで、自分はどういう表現をしていくか考えたり、制作への意欲を高めることに繋がったと思う。